具体的な質問例と見ている観点



1

過去【軸・根つことなる価値観は何か】

- ①これまでの人生の中で、どんな軸のもと選択を行ってきたか。 <例>
- ・なぜこの大学に行こうと思ったのか。
- ・就職活動での軸は何だったのか。
- ・今までの人生で一番苦労したことは何か。 何が難しくてどう解決したのか。
- ・自分の行動を決める判断基準となったきっかけ・出来事は何か。
- ※小中高時代までさかのぼって、エピソードを聞くこともあります。

質問を通して、思考の深さ(一貫性)・内省性・向上心を見ています。

- ・思考の深さ:選択の軸に自分の想いがあるか。
 - その場限りではなく、考えて決断してきているか。
- ・内省性:経験を振り返り内省し、次に活かすことができるか。
- ・向上心:成長に対しての欲求の強さ。困難・壁を機会と捉え、

変化・成長ができるか。







現在【仕事において、あなたのこだわりは何か】

- ②こだわりをもって仕事に取り組んでいたか? <例>
- ・仕事で1番頑張ったことは何か。(目標・実績・期間など具体的に)
- ・課題と感じたことはどのようなことか。その課題に対して どのような行動をとり解決したのか。あなたが介在することで どれほどの変化が生まれたのか。
- ・一連の取り組み(PDCA)を振り返って、自分の強みは何か。
- ・モチベーションの源は何か。苦しいときもどうして諦めず頑張れたのか。

質問を通して、エネルギー・主体性・再現可能性を見ています。

- ・エネルギー:自分でゴールを決めて走り抜くことができるか。
 - 掲げた目標を口だけでなくやりきることができるか。
- ・主体性:課題を他責ではなく自分のこととして捉えることができるか。
- ・再現可能性:成功体験が偶然ではなく、環境が変わっても再現可能かどうか。



调井

未来



3

※最終面接時に深堀りされます。

未来【将来どう在りたいか】

- ③今回の転職を通して、何を成し遂げたいのか。 〈例〉
- ・転職のきっかけは何か。
- ・転職の目的は何か。何を実現したくての転職なのか。(リクルートキャリアというフィールドを使って、いつまでにどうなりたいか。具体的にお話ください。)

質問を通して、**視座の高さ・覚悟感**を見ています。

・視座の高さ:転職の目的が自己成長・目標達成など

自分のことだけを考えているのではなく、 顧客の事業成長・社会問題解決など

顧客視点でも考えることができているか。

・覚悟感:誰かに転職しなさいと言われて始めるわけではい

転職活動。転職の目的にあなたの意志があるか。

【過去NG例】

- ✓ 他責性が強い
- ✓ やりきった経験がない
- ✓ こだわりが感じられない
- ✓ 自分軸でしか考えていない
- ✓ アウトプットが抽象的

リクルートキャリアが大切にしている3つのValue



①昨日を超える(成長意欲)

昨日を超える一歩を踏み出し、自分でゴールを決めて 結果にこだわり最後までやり遂げる

②圧倒的当事者意識(主体性)

何ごとも我が事としてとらえ自らの責任で考え行動する

素直さ

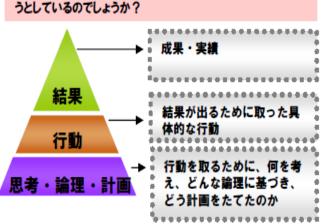
スピード感

③社会起点(顧客志向)

できるだけ広く・深く・長い視点で「何のためにやるのか」という目的を描く

变化対応力

成功体験や仕事の成果についての質問で面接官は何を見ようとしているのでしょうか?



面接官が聞きたいのは結果ではなく、 ピラミッドの下2つ(思考と行動)です。

すべての成果・結果にはそれに基づく行動があります。 その行動をとるに至るまでには、思考や計画があります。

どういう思いでその業務に取り組んだのか、

あなたの根っこにある想い・エネルギーを面接官は知りたいと思っています。

※年次によって求めるレベルは変わります。

強みや弱み含めて、どこまで具体的な言葉で話ができるかが ポイントとなってきます。